

## 平成24年度当初予算（一般会計）における主要事業概要

第五次町総合計画の基本構想・前期基本計画に基づいて実施する施策及び事業のうち、平成24年度の主な事業概要は、次のとおりです。

### 笑顔あふれるふれあいのまち 猪名川 ～地域・生活～

【拡充】防災対策事業	1,052万3千円
【拡充】コミュニティ推進事業	702万2千円
【拡充】人権平和事業	349万円
【拡充】消防施設整備事業	4,024万4千円

### こころ安らぐ自然に育まれたまち 猪名川 ～環境・景観～

【新規】希少水生生物等保全事業	51万4千円
-----------------	--------

### いきいきと暮らせる健康長寿のまち 猪名川 ～健康・福祉～

【拡充】子育て支援対策事業	1,381万5千円
【拡充】私立保育所の運営負担及び認可外保育所助成事業等	1億9,744万2千円
【拡充】感染症対策事業	7,027万円





### こころ豊かな教育・文化のまち 猪名川 ~教育・文化~

【新規】静思館改修事業	1,230万2千円
【新規】小学校統合にかかる事業	6,066万9千円
【新規】多田銀銅山悠久広場（堀家製錬所跡）整備事業	5,420万7千円

### 活力とにぎわいのあるまち 猪名川 ~都市・産業・観光~

【新規】市街化調整区域の活性化方策検討	160万円
【新規】いながわ桜まつり支援事業	348万1千円
【拡充】里山再生整備事業	1,376万3千円
【拡充】都市計画道路原広根線新設改良事業	1億229万9千円
【拡充】河川維持管理事業	5,550万円
【拡充】特別指定区域制度の活用	447万3千円

### 人びとと行政がともに歩むまち 猪名川 ~行政運営~

【新規】広報紙A4冊子化リニューアル	279万円
--------------------	-------

次ページからは猪名川町の主要事業の概要を記載しています。



# 笑顔あふれるふれあいのまち 猪名川

## ～地域・生活～

まちづくりの主役である住民の活動基盤を整備するとともに、参画と協働を一層進め、安全・安心をキーワードに、犯罪が起きにくく災害に強いまちづくりに取り組みます。

人権を尊重し、すべての人がともにささえあう共生のまちづくりを推進し、人々の笑顔があふれ、豊かで快適な生活を実現するまちづくりをめざします。

### 交通安全対策事業（継続）

5 1 6 万円

#### 【担当：地域振興部 参画協働課】

交通事故撲滅に向け、川西警察署や川西交通安全協会、町交通安全推進協議会の協力のもと、街頭啓発の実施や幼児・児童の交通安全教室の開催及び高齢者ドライバーを対象としたシルバー安全運転講習会を開催するなどの意識啓発を図り「交通安全宣言の町」としてふさわしい取り組みを推進します。

### 防災対策事業（拡充）

1, 0 5 2 万 3 千円

#### 【担当：総務部 総務課】

防災対策については、土砂災害等により孤立する可能性のある集落への通信手段の確保や、地域住民の方々がより多く防災訓練に参加・体験できるように、小学校区単位の体験重視型訓練の実施を引き続き支援するとともに、各まちづくり協議会を対象に避難所運営訓練（HUG）を実施します。また、地域での防災活動の中心となる人材の育成として、防災士の資格を取得する方に、テキスト代や受験料・登録料の費用について補助を行います。

さらに災害時の情報伝達をより適時・的確に配信するために、携帯電話への情報配信について拡充を図るとともに、全小・中学校に設置している防災倉庫の備蓄品を適正に更新します。

### 防犯対策事業（継続）

2, 5 0 4 万 3 千円

#### 【担当：地域振興部 参画協働課】

安全で安心して暮らせるまちづくりに向け、防犯灯の適正な維持管理に努めます。

また、昨今の犯罪は悪質化・巧妙化・低年齢化の傾向にあるため、生活安全アドバイザーを警察とのパイプ役として防犯委員及び自主防犯グループと連携を図る中で犯罪の未然防止に努め、明るく安全で住みよい地域社会づくりを推進します。

## 国際交流事業費（継続）

234万2千円

### 【担当：地域振興部 参画協働課】

姉妹都市パララット市との交流を深め、多面的分野にわたる国際交流を推進するとともに、地域の外国人住民が安心して暮らせる多文化共生のまちづくりに努めます。

また、住民主体で実施される多文化間の相互理解と国際親善を推進する国際交流協会の活動について補助金を交付します。

## コミュニティ推進事業（拡充）

702万2千円

### 【担当：地域振興部 参画協働課】

7小学校区に設置された“まちづくり協議会”を中心に、地域の特色、特性を活かした住民の参画と協働による安全・安心なまちづくりに向けた地域コミュニティの推進を図るため、その活動に対して補助金を交付します。

また、住民のふるさとに伝わる伝統料理、郷土料理をテーマとした「ふるさとお国自慢料理大会」を実施し、「食」を通じた住民間交流による新たなコミュニティの醸成に努めます。

## 人権平和事業（拡充）

349万円

### 【担当：地域振興部 参画協働課】

人権教育・啓発の推進については、「人権推進基本計画」に基づき、一人ひとりの個性が尊重され、お互いの違いを認め合い、ともに支え合う共生社会の実現のため、「人権を考える町民のつどい」、「人権教育セミナー」及び「人権啓発担当者研修」などを開催し、すべての人々の人権が尊重される人権文化に満ちたまちづくりをめざします。

また、恒久平和を願い、核兵器の廃絶と核実験の中止を訴えるとともに、平和講演会や平和パネル展などを行います。

## 消費者対策事業（継続）

268万9千円

### 【担当：地域振興部 参画協働課】

消費者行政の活性化は喫緊の課題となっていることから、これまで以上に住民に身近で相談しやすい窓口の実現のため、相談窓口の周知・啓発、相談員の資質向上に努めるとともに、複雑化、高度化する消費者トラブルに対応するため、県弁護士会や司法書士会など関係機関との連携を強化し、相談支援を行います。

また、消費者トラブルの未然防止のため、近年多く発生しているトラブル事例などを交えた消費生活講座や出前講座の更なる充実を図ります。

### 救急活動・啓発事業（継続）

405万6千円

#### 【担当：消防本部】

救命率の向上を図るため、引き続き救急救命士による心肺蘇生法を主とした救命講習を実施します。

また、救急アドバイザーが、自治会・子育てグループなどを対象とした出前講座において、わかりやすい救急の知識、応急手当の実施方法などの普及啓発活動を行います。

### 自主防災組織育成事業（継続）

143万4千円

#### 【担当：消防本部】

自主防災組織については、引き続き各自主防災組織における訓練の実施を推進するとともに、老朽化が進んでいる消防用ホース格納箱等の更新に対する助成を行い、地域における災害対応能力の強化に努めます。

### 消防施設整備事業（拡充）

4,024万4千円

#### 【担当：消防本部】

救急の応急処置をさらに高度化させるため、消防署に配置している高規格救急車1台を更新します。

また、消防団の機動力を強化するため、小型動力ポンプ付積載車1台を更新します。



高規格救急車

### 児童生徒安全対策事業（継続）

70万6千円

#### 【担当：教育委員会 学校教育課】

全国的に登下校時に子どもが凶悪事件の被害者となる事件が多数発生しているため、学校安全ボランティアの協力による登下校時の安全確保に努めるとともに、各学校では教職員を対象とした防犯訓練の実施、町立小・中学校の児童生徒全員に対する防犯ブザーの貸与、及び子ども自身の防犯スキルの向上を図るため、小学校での「CAP講習会（子どもへの暴力防止を考える講習会）」を実施します。

## こころ安らぐ自然に育まれたまち 猪名川

### ～環境・景観～

清流猪名川をはじめ、豊かな里山など、自然を身近に感じることができる本町のすばらしい環境の中で、都市との調和を図り、潤いと安らぎが感じられるまちづくりに取り組みます。

自然にふれあい、自然について学び、自然の尊さや自然と共生する心を育み、いつまでも季節の変化を感じられる美しい環境づくりをめざします。

#### ごみ減量化等対策事業（継続）

1,430万3千円

##### 【担当：生活部 住民保険課】

再生資源集団回収奨励金制度を引き続き行うほか、公共事業で排出される生木・生草のリサイクルや住民参加、出店によるフリーマーケット等の場の提供を行います。

#### 塵芥処理事業（継続）

9,124万6千円

##### 【担当：生活部 住民保険課】

ごみ収集業務については、大型ごみの有料収集など引き続き適正なごみ処理に向けた分別収集を徹底します。また、びん収集における資源ごみ回収コンテナの軽量化に向け、一部の地域で試行的に軽量コンテナの導入を行い、その効果について検証します。

#### 希少水生生物等保全事業（新規）

51万4千円

##### 【担当：まちづくり部 都市環境課】

平成23年度に実施した町内の水路・ため池等の調査結果に基づき町内に生息する水田生態系の代表的な生物であるメダカ等希少水生生物の生息地を保全するとともに、保全活動の拠点を整備し、生息環境及び里山の重要性を学ぶ活動を展開します。

また、同23年度より開始したメダカの里親制度により、家族や地域ぐるみでの環境保全意識の醸成を図ります。



元気に泳ぐメダカ

### 水環境保全整備事業（継続）

63万7千円

#### 【担当：まちづくり部 都市環境課】

清流猪名川を取り戻そう町民運動が、自主的な地域の活動として継続的に展開されるように同運動実行委員会に対する活動支援を行います。

また、引き続き雨水利用を促進する貯留施設（タンク）設置に対する助成を実施するとともに、清掃用具の地域・グループへの貸し出しにより河川愛護活動を支援します。

### 公園緑地の維持管理（継続）

1億42万円

#### 【担当：まちづくり部 建設営繕課】

総合公園、地区公園、近隣公園等47公園及び66箇所の緑地の維持管理を行い、生活の中に潤いと安らぎを提供できるように取り組みます。

また、定期的な安全点検により公園遊具による事故を未然に防止するとともに、全公園を対象に行った安全点検結果に基づき撤去した公園遊具の新たな設置については、地域住民によるアドプトなど今後の管理に対する住民の参画もあわせて検討するうえで、順次施設の更新に努めます。



アドプトの風景

### 公園緑地整備工事（継続）

2,400万円

#### 【担当：まちづくり部 建設営繕課】

誰もが安心して利用できる公園を目指し、地域との協働により、子どもが安心して遊べる遊具、高齢者や地域住民のニーズに応じた施設の配置など、誰もが安心して利用できる公園づくりを進めるとともに、つつじが丘地内の3つの公園について、地域のワークショップなどの意見を基に遊具の設置を行います。

## いきいきと暮らせる健康長寿のまち 猪名川

### ～健康・福祉～

高齢者や障がいのある人を地域でささえる仕組みづくりなど、安全で快適に暮らせる環境づくりを進めるとともに、町ぐるみで健康づくり活動を促進することで、いつまでも元気でいきいきと暮らせることが実感できる健康長寿のまちづくりに取り組みます。

子育て世代が安心して子どもを産み育てることのできる活力ある地域社会づくりを進め、子どもたちが本町の特色である自然環境を最大限に活かし、健やかに育つ環境づくりをめざします。

#### シニア世代生きがいづくり事業（継続）

54万4千円

##### 【担当：地域振興部 協働参画課】

シニア世代の豊富な知識・経験を地域づくりやまちづくりに活かしながら、各地域でアドプト活動への誘導や、遊休農地の活用などにつなげていくため、農業体験講座を通して、新たな後継者の育成に努めます。

また、これまでの社会で培われた経験、知識、技能等に加え、自らの人生観を気軽に幅広い世代に語りかける場として、「わたしたちのまちかど講演会」を実施し、新たな生きがいづくりの支援を行うとともに、NPO法人設立支援など、広くシニア世代の生きがいづくりの支援を行います。

#### 社会福祉協議会への補助（継続）

6,374万7千円

##### 【担当：生活部 福祉課】

総合福祉センターを拠点として、これまで実施してきた高齢者や障がい者に対する一体的、総合的な福祉サービスの提供や、障害者自立支援法に基づく事業所である「希望の家すばる」など、その事業運営主体となる猪名川町社会福祉協議会に対して引き続き助成を行い、本町における地域福祉の推進役として一層の機能強化を図るための支援を行います。

#### 緊急通報システム運営事業（継続）

228万9千円

##### 【担当：生活部 福祉課】

一人暮らし高齢者（65歳以上）及び重度身体障がい者の緊急時の不安解消や安全確保などを目的とする緊急通報システム事業の運営を引き続き行います。



**人生80年いきいき住宅助成事業（継続）****560万円****【担当：生活部 福祉課】**

住み慣れた地域で暮らすことを望む高齢者や障がい者が、家庭で安心して健やかに生活が送れることを目的に、引き続き一定要件の住宅改修に伴う費用の一部を助成し、在宅介護の支援に努めます。

人生80年いきいき住宅助成事業の対象

種類	対象者
一般型	・60歳以上の高齢者のいる世帯で特別型の対象とならない人
特別型	・介護保険申請者で、要支援以上の認定を受けた人 ・身体障害者手帳の交付を受けた人 ・療育手帳の交付を受けた人
増改築型	・一般型及び特別型の対象者

**敬老祝金（継続）****510万円****【担当：生活部 福祉課】**

77歳（1万円）、88歳（2万円）、100歳以上（3万円）の敬老祝金を引き続き支給し、福祉の増進に努めます。

敬老祝金の推移

（単位：人、万円）

年 度	対象者	支給総額
平成22年度実績	296	394
平成23年度見込	317	432
平成24年度予算	363	510

**障害者相談支援事業（継続）****1,794万5千円****【担当：生活部 福祉課】**

障がい者（児）やその保護者、介護者からのあらゆる相談に応じ、必要な情報の提供や権利擁護のための援助を行うことにより、自立した日常生活、社会生活の向上を図ることを目的として相談支援センターを設置しています。また、障害者就労支援センターでは、障がい者の就労に係る相談、援助、実習訓練、啓発等を行うことにより、一人でも多くの障がい者が就労の場や機会を得られるよう努めます。

**心身障害者（児）福祉金（継続）****1,427万円****【担当：生活部 福祉課】**

障害者（児）福祉金を支給することにより、経済的負担の軽減を図り、障がい者福祉の向上に努めます。

**心身障害者（児）支援事業（継続）****2億884万8千円****【担当：生活部 福祉課】**

障害者自立支援法に基づく介護給付費等の支給を行い、生活介護や就労支援など日中活動系サービスの充実を図り、障がい者の自立と社会参加の向上や生活支援に努めます。

**乳幼児等医療費助成事業（継続）****8,159万円****【担当：生活部 福祉課】**

中学校修了までの入院時一部負担金の無料化を含め、引き続き乳幼児等への医療助成を実施します。

また、平成23年10月1日より実施している、小学4年生から6年生を対象に外来医療費を助成する「こども医療費助成制度」では、扶養義務者が市町村民税所得割23万5千円未満の家庭に保険診療分の1割を助成します。

**子育て支援対策事業（拡充）****1,381万5千円****【担当：生活部 福祉課】**

子育て支援センターでは、安心して子育てができる安全な環境づくりを目指して、子育て中の親子が気軽に交流し、子育て相談することができる「つどいの広場」を拡充するとともに、センター内で子ども達が安心して外遊びができるように、福祉の充実を目的に寄付のあった「ふるさと応援寄付金」を活用し、屋外遊具の整備を行います。

また、子育て支援センターを核とした相談、情報提供、広場事業等総合的な子育て支援の一層の充実を図るため、引き続き、子育て支援アドバイザーを配置し巡回相談を実施し、地域における子育て支援のネットワーク化や子育てグループの活動に対しても支援や助成を行います。

**子ども手当等給付（継続）****6億497万3千円****【担当：生活部 福祉課】**

子ども手当について、法令に基づき中学校終了までの子どもを対象に、3歳未満の子どもと、第3子以降の子ども1人につき月額1万5千円を、3歳以上の子ども1人につき月額1万円を支給します。また、平成24年6月以降には所得制限を導入し、所得制限を上回る家庭には子ども1人につき月額5千円を支給します。

**私立保育所の運営負担及び認可外保育所助成事業等（拡充）****1億9,744万2千円****【担当：生活部 福祉課】**

私立保育所「星児園七夕」、認定こども園「YMCAまつおだい保育園」や平成24年度から新たに開設される認定こども園「YMCAしろがね保育園」での保育の実施が円滑に行えるように、運営費の負担と特別保育事業（一時保育、延長保育促進事業、地域子育て支援拠点事業など）に対する補助を行い、子育て支援の一層の推進に努めます。

また、認可保育所待機児童の解消を図る施策として、認可外保育所に入所した場合、認可保育所との保育料差額分の一部助成やその認可外保育所事業運営への補助を引き続き行います。

各保育所の入所児童数 (単位:人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
町立保育所 猪名川保育園	6 (0)	13 (0)	16 (0)	25 (0)	24 (0)	28 (0)	112 (0)
私立保育所 星児園七夕	9 (2)	16 (0)	18 (0)	29 (0)	18 (1)	22 (3)	112 (6)
認定こども園 YMCAまつ おだい保育園	6 (2)	18 (10)	12 (8)				36 (20)
計	21 (4)	47 (10)	46 (8)	54 (0)	42 (1)	50 (3)	260 (26)

\* ( )内は町外園児数、(平成24年1月現在)

**地域健康づくり組織支援事業（継続）****140万2千円****【担当：生活部 住民保険課】**

住民自らが健康づくりに取り組む意欲の増進を目的として、専門家による適切かつ正しい健康づくり情報を研修の実施により健康づくり支援員を引き続き育成し、行政だけでなく同支援員が地域に根ざした実践活動を通じて地域ぐるみで健康づくりを進めます。

また、平成24年度を最終年度として第5期生の養成に取り組むとともに、健康づくりに協力できるボランティアを増やし、地域全体で継続した実践活動ができるよう支援します。

**いながわ健康・医療相談ほっとライン24（継続）****230万5千円****【担当：生活部 住民保険課】**

年中無休、24時間体制で病気やケガなど医療に関する住民の不安や疑問に、医師・看護師・保健師が相談料・電話通話料無料で答える「いながわ健康・医療相談ほっとライン24」を専門機関に委託して引き続き実施し、町民のさらなる利用促進のために定期的な啓発に努めます。

**健康診査・検診事業等（継続）**

9,500万1千円

**【担当：生活部 住民保険課】**

糖尿病等の生活習慣病に関する健康診査及び保健指導を実施し、生活習慣病の予防・改善に努めます。

また、特定の年齢層に対して、子宮頸がん及び乳がん・大腸がん検診の無料クーポン券を送付し、受診促進とがんの早期発見、健康意識の普及・啓発に引き続き努めます。

成人歯科検診については、“生涯自分の歯で食べられること”を目的として、30歳から70歳までの5歳刻みで節目の人を対象に医療機関での歯科検診を引き続き実施します。

**感染症対策事業（拡充）**

7,027万円

**【担当：生活部 住民保険課】**

疾病の発生予防により住民の健康増進を図ることを目的に、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種を、国のワクチン接種緊急促進事業を活用し、引き続き実施します。

また、基礎疾患を有する高齢者に対し、経済的負担の軽減と感染予防のため、肺炎球菌ワクチン接種費用の一部を助成します。

**妊婦健康診査費助成事業（継続）**

1,281万円

**【担当：生活部 住民保険課】**

妊婦が健診費用を心配せず、必要な回数の妊婦健診を受けられるように、引き続き助成を行います。

**放課後児童対策事業（継続）**

5,894万4千円

**【担当：教育委員会 学校教育課】**

原則として、小学校低学年に在籍する児童で、保護者の就労などにより昼間家庭で保育を受けられない児童に対して、町内のすべての小学校で留守家庭児童育成室を開設し、児童の健全育成を図ります。放課後から午後6時までの開室を基本に、育成室を利用する保護者の申請により、特別延長も実施します。

利用児童数の推移

年 度	児童数 (人)
平成22年度実績	157
平成23年度見込	174
平成24年度予算	176

**すこやか体力検定事業（継続）**

42万円

**【担当：教育委員会 生涯学習課】**

高齢者を対象とした体力テストを引き続き実施し、受検者自身に体力・健康度を正確に把握していただくことで、健康や生涯スポーツへの関心を高めてもらい、健康と体力の維持増進を図ります。

## こころ豊かな教育・文化のまち 猪名川

### ～教育・文化～

住民が生涯を通じて学ぶことのできる環境を整えるとともに、子どもたちが豊かな自然環境や独自の歴史・文化のもとで、思いやりの心や豊かな人間性、自ら考え自ら学ぶ力を育てるまちづくりに取り組みます。

だれもがいつでも、気軽に学ぶことができるよう、情報を提供し、機会や場を設け、人材を育てるなど環境整備を進め、文化・歴史の保存と活用により、「ふるさと猪名川」を次世代へ継承しながら、住民の創意工夫による新たな文化の創造をめざします。

#### 静思館改修事業（新規）

1,230万2千円

【担当：総務部 総務課】

静思館の改修については、平成23年度の静思館運営審議会の答申書も踏まえ、茅葺きの傷みが激しい北面屋根等の修繕を行い、貴重な文化遺産の価値を維持しながら次世代へ継承していきます。

#### 小児生活習慣病予防対策事業（継続）

54万6千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

小学校4年生と中学校2年生を対象に生活習慣に関するアンケート調査を実施し、学校、家庭、地域、医療機関等と連携しながら早い時期からの効果的な生活習慣病の予防対策が行えるよう努めます。

#### 学習到達度調査事業（継続）

77万8千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

町内の中学2年生と小学5年生を対象に学習到達度及び生活意識調査を実施し、分析結果をもとに学習及び生活指導上の課題を明確にすることにより、指導方法の工夫改善を図り生徒の学力の向上に努めます。

#### 学校支援地域本部事業（継続）

188万1千円

【担当：教育委員会 学校教育課】

地域全体で学校教育を支援するため、学校支援ボランティアの人材バンクを整備、活用し学校と地域との連携体制を構築し、専門的な知識・技能を持った人材の参画により、学習支援などの学校支援活動を展開します。

**教育研究所事業（継続）**

1,177万2千円

**【担当：教育委員会 学校教育課】**

教育研究所で、教職員の指導力の向上に向けた研修の充実を図るとともに、不登校児童生徒の学校復帰を支援するための適応教室「STEPいながわ」と、いじめ問題への対応や保護者の子育てを支援する教育相談事業の一層の充実を図ります。また、不登校対策や問題を抱える児童生徒の自立を支援する拠点として、学校や関係機関と連携してさらなる機能強化に努めます。

**小学校統合にかかる事業（新規）**

6,066万9千円

**【担当：教育委員会 学校教育課】**

平成25年4月に予定されている阿古谷小学校及び松尾台小学校の統合に向けて、両校の教育課程の整合を図るための措置を講じるとともに、統合後の学校施設活用と地域活性化のため、児童の保護者や地域住民の代表者、学校の代表者等で組織される推進組織を設置し、円滑な統合に向けて準備を進めます。また、通学の安全・安心を確保すべく通学路の整備を実施します。

**情報教育の充実（小・中学校）（継続）**

4,797万4千円

**【担当：教育委員会 学校教育課】****（緊急雇用創出事業で53万円を重複計上）**

わかりやすい授業の実現、子どもたちの情報活用能力の育成を図るため、授業においてICT（情報通信技術）を効果的に活用できるように、小・中学校パソコン教室の情報機器、教師用パソコン及び各学校と教育委員会を結ぶ学校LANの維持・保守を行います。

また、平成23年度に導入した校務支援システムを利用し、事務の省力化を図ることにより教員と子どもたちと向き合う時間を確保し、教育活動の充実を図ります。

**わくわくスクールプラン推進事業（継続）**

343万1千円

**【担当：教育委員会 学校教育課】**

「確かな学力」の向上、「豊かな心」及び「たくましい体」の育成のため、中学校区ごとに就学前教育から中学校までの子どもたちや教職員の交流・連携を一層促進し、カリキュラムの編成や指導方法の工夫改善に関する研究を中心とした強固な連携とゆるやかな一貫性のある教育を推進します。

**中学校備品整備事業（継続）**

649万9千円

**【担当：教育委員会 学校教育課】**

老朽化した生徒用机・椅子を計画的に更新し、学習環境の改善を図ります。

平成23年度は中谷中学校及び六瀬中学校で更新、同24年度は猪名川中学校において更新します。

**特別支援教育の推進（継続）**

1,255万5千円

**【担当：教育委員会 学校教育課】**

通常の学級に在籍する発達障がい児も含めて、障がいのある幼児、児童、生徒への適切な教育的支援を行うため、教育相談や幼稚園、小・中学校への巡回相談を実施します。ADHD（注意欠陥多動性障害）等により行動面で課題のある児童・生徒が在籍する小・中学校の通常学級にスクールアシスタントを配置するとともに、兵庫教育大学大学院生による学校支援を行い、学校園における特別支援教育の質の向上を図ります。また、フォーラムを開催するなどして、地域住民の特別支援教育への理解啓発を進めます。

**学校図書館への学校図書館司書配置事業（継続）**

1,249万円

**【担当：教育委員会 学校教育課】**

小・中学校で図書館教育の専門的な取り組みを推進するため、県の配置対象とならない12学級未満の学校についても町単独で学校図書館司書を配置することにより、読書指導の充実に加え、各教科等における図書館資料の活用を通して、自ら学び自ら考える学習を支援する学校図書館としての機能充実に努めます。

**学校施設整備事業（小・中学校）（継続）**

4,828万7千円

**【担当：教育委員会 学校教育課】**

児童・生徒の学習環境の充実と改善、安全な施設管理を図るため、学校営繕工事を継続的に実施します。

**私立幼稚園就園奨励事業（継続）**

3,149万2千円

**【担当：教育委員会 学校教育課】**

就学前幼児の幼稚園教育の振興を図るため、3歳児から5歳児までの私立幼稚園に通園する園児を対象に助成し、保育料等の負担軽減を行います。

助成園児数の推移

年 度	園 児 数 (人)		
	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児
平成22年度実績	109	153	144
平成23年度見込	125	134	150
平成24年度見込	119	131	149

**青少年健全育成事業（継続）**

669万4千円

**【担当：教育委員会 生涯学習課】**

青少年健全育成推進会議を中心に、青少年関係団体間で情報交換を行うなどネットワーク化を図り、青少年健全育成を推進します。

## 文化財保護の推進（継続）

670万円

### 【担当：教育委員会 生涯学習課】

貴重な文化遺産を保護し次代へ継承していくため、町内の遺跡等の文化財調査を進めます。また、本町の歴史を語る上で、欠かすことのできない産業遺産である銀山地区について、大坂口番所跡の測量調査や本町対岸遺跡の詳細調査などを進めるとともに、随時、調査結果等を公表し、住民の郷土に対する認識を深められるよう努めます。

## 多田銀銅山悠久広場（堀家製錬所跡）整備事業（新規）

5,420万7千円

### 【担当：教育委員会 生涯学習課】

多田銀銅山悠久の館利用者は年々増加し、年間2万人近くの来館者の多くが自家用車での来館であることから、不足している駐車場の整備を行い、近隣住民の生活への影響に配慮するとともに、昨年度実施した堀家製錬所跡遺跡の確認調査にて明らかとなった明治期における製錬のレンガ塔の公開や製錬の工程を説明した看板等の設置により、本町の歴史・文化に触れることのできる広場としての整備を行い、中間拠点地としての活用を図ります。



堀家製錬所跡レンガ塔

## 猪名川町生涯学習カレッジ「リバグレス猪名川」（継続）

90万円

### 【担当：教育委員会 生涯学習課】

豊かな人間性の形成や自己実現のための学習を支援するため、生活や地域に密着したテーマ・現代的課題について、住民がより深く学べる機会の提供を目的として、リバグレス猪名川を開講します。

## 学校施設開放事業（継続）

479万円

### 【担当：教育委員会 生涯学習課】

休日等に小・中学校のグラウンドや体育館を開放し、地域スポーツ活動への利活用を図ります。また夏休みの一定期間中、小学校のプールを開放し、学校や家庭と地域、住民相互のコミュニケーション醸成の場として利活用を図ります。

## 屋内温水プール改修事業（継続）

6,653万9千円

### 【担当：教育委員会 生涯学習課】

平成13年に開館したB&G海洋センターは、屋内温水プールとして一般遊泳や水泳教室など健康づくりや体力づくりを増進するため、多くの住民に利用されてきましたが、開館から10年が経過し、経年による老朽化が進行していることから、B&G財団の助成を受け、屋内温水プールの大規模改修を行います。



# 活力とにぎわいのあるまち 猪名川

## ～都市・産業・観光～

暮らしと経済をささえる都市基盤の充実と多様な産業の発展を推進し、活力とにぎわいのあるまちづくりに取り組みます。

地域資源を活かした産業振興を図るため、農林業・商業・観光産業などの有機的な連携により「いながわブランド」の創出をめざすとともに、それらを町内外へ発信することにより、暮らす人、訪れる人にとって魅力あるまちづくりをめざします。

### 公共交通の充実（公共施設循環バス運行事業など）（継続） 2,379万3千円

#### 【担当：企画部 企画財政課】

公共施設循環バス（ふれあいバス）については、アンケート、乗降客調査、地域意見交換会などのニーズを踏まえ、利便性向上に向け、順次見直しを行います。

また、地域公共交通会議を開催し、住民にとって利用しやすい公共交通の充実を目指し、本町における持続可能な交通体系を検討します。さらに、引き続きノンステップバス導入補助を行い、すべての人が利用しやすい公共交通を目指した支援を行います。

### 産地形成振興対策事業（継続） 416万9千円

#### 【担当：地域振興部 産業観光課】

地場産農産物の安定供給に必要な農家への営農・技術指導について、JA兵庫六甲・阪神農業改良普及センターなどとの連携を図る一方、農産物の周年出荷体制を確立させるため、パイプハウスの設置に対する支援を引き続き行います。

また、今後の農業を担っていく青年就農者や新規就農者の育成、支援について更なる推進方策についても検討を進めていくとともに、“そば”の安定供給等に向けた取り組みを引き続き進めます。

### 中山間地域の保全施策（継続） 932万1千円

#### 【担当：地域振興部 産業観光課】

農地が急傾斜地など一定の生産条件不利地にある地域（柏原・西畑・槻並・原）に対して、引き続き中山間地域等直接支払制度により農地の保全と活用に努めます。

## 農地・水・環境保全向上対策事業（継続）

167万9千円

### 【担当：地域振興部 産業観光課】

農業従事者の減少、高齢化、耕作放棄地の増大等、農業・農村が危機的状況にあることから、地域ぐるみ又は農業者ぐるみ等多数の人々により地域資源の適切な管理活動を行い、自然環境の保全、良好な景観形成等農地のもつ多面的機能の維持・発揮へつなげる事業を継続実施します。また、主作物栽培前に緑肥等により地力増進に取り組む地域に対し、引き続き環境保全型農業直接支払補助金により、肥沃な農地の形成を支援します。

## 里山再生整備事業（拡充）

1,376万3千円

### 【担当：地域振興部 産業観光課】

森と人が共存する循環型社会の構築に向けて、効率的な森林伐採・搬出を含めた「資源調達・流通システム」の調査研究を進め、町内で発生する林地残材や支障木の利活用を検討します。そのため循環型社会の一助となる木質バイオマスの可能性について、町役場ロビーにペレットストーブをモデル設置し、啓発コーナーとしての機能と併せて、更なるデータ収集、整理を進めます。また、教育施設におけるペレットストーブの導入を進めることとし、大島小学校をモデル校として普通教室にペレットストーブ6台を設置します。

里山再生の一つの手法として、実施している緩衝帯整備事業については、野生動物と人の生活を切り離すことで、有害鳥獣による被害の軽減も図れていることから、有害鳥獣対策とも並行する形で進めていきます。



## 大野山管理運営事業（継続）

1,218万6千円

### 【担当：地域振興部 産業観光課】

大野アルプスランドについては、指定管理者（柏原生産森林組合）や天文台運営委員会と連携し、さらなる集客に努めます。本町の貴重な観光スポットとして、これまで以上に観光客に喜んでいただける施設となるよう、あじさいまつりや星まつり、観望会などのイベントも積極的に実施します。また、鹿、猪などによる食害によって枯死したあじさいの補植（約1千本）を平成23年度に引き続き実施します。

## 自然歩道管理事業（継続）

309万4千円

### 【担当：地域振興部 産業観光課】

身近な自然や多田銀銅山跡などの歴史とふれあえる近畿自然歩道を安全に通行できるよう管理するとともに、万善・銀山・下阿古谷の公衆トイレを含めた適切な維持管理に努めます。

## 緊急雇用創出事業（継続）

850万円

### 【担当：地域振興部 産業観光課】

東日本大震災からの復興及び円高対策に基づく国の補助事業を活用し、町内での雇用創出を図るため5事業を計画し、雇用情勢の改善に努めます。

【特産品販売強化事業】町特産品の販売強化及び販路拡大に取り組み、産業振興、観光振興に努めます。

【不法投棄防止対策事業】不法投棄防止対策として、定期的な巡回パトロールや不法投棄物の撤去・分別・処分などを行い、良好な生活環境の保全を図ります。

【地域福祉コーディネーター事業】地域包括支援センターにおける給付管理事務担当職員を増員し、正確かつ迅速な事務処理を行うとともに、相談支援事業の充実を図ります。

【小学校統合推進事業】平成25年度に予定している阿古谷小学校及び松尾台小学校の統合にかかる各種事業の実施に際して、学校と行政、その他関係者間における調整を図るための統合推進コーディネーターを配置します。

【校務情報化推進事業】校務システムの管理機能を教職員に定着させるため、教職員の階層別研修や操作支援を行います。

## いながわ桜まつり支援事業（新規）

348万1千円

### 【担当：地域振興部 産業観光課】

平成24年度より新たな取り組みとして商工会、観光協会など多くの団体や地域住民ボランティアが協力して開催する「いながわ桜まつり」を支援し、町の活性化や観光PRを行います。また、地元農家より周辺農地を菜の花畑として協力いただき、菜の花の黄色と桜の桃色とで春の色鮮やかな風景を醸し出します。さらに猪名川高校の生徒たちもボランティアスタッフとしてフレッシュなイベントを盛り上げます。

開催日 平成24年4月8日(日)

場所 日生中央駅～猪名川町役場

ライトアップ 平成24年4月1日(日)～10日(火)



いながわ桜まつり

## 観光高揚事業（継続）

362万9千円

### 【担当：地域振興部 産業観光課】

本町の歴史・文化・自然を内外に広く啓発するための施設、多田銀銅山悠久の館や歴史街道などを基点として活動している観光ボランティアガイドのさらなる充実を図ります。

また県や近隣市町との連携、さらには鉄道、バス事業者等との連携強化により、本町の貴重な自然、歴史を、四季を通じて満喫してもらえるハイキング等の実施や誘致にも力を入れ、観光誘客に努めます。

**道路維持補修事業（継続）** 2,101万9千円

【担当：まちづくり部 建設営繕課】

道路交通の円滑化と安全・安心の確保を目的として、道路施設の計画的な維持補修に努めます。実施する主な事業は、町道阿古谷民田線用地測量、町道万善村上線維持修繕工事となっています。

**都市計画道路原広根線新設改良事業（拡充）** 1億229万9千円

【担当：まちづくり部 建設営繕課】

新名神高速道路供用が平成28年度に予定される中、町内交通体系を見直すとともに、都市計画決定済の原広根線について、パークタウン交差点までの延長約280mの整備に必要な用地購入等を進めます。

**橋りょう維持補修事業（継続）** 6,230万3千円

【担当：まちづくり部 建設営繕課】

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、町が管理する橋りょうの計画的な維持補修に努めます。平成24年度はパークタウン内のトンガリ橋の修繕工事を実施します。

**河川維持管理事業（拡充）** 5,550万円

【担当：まちづくり部 建設営繕課】

町が管理する普通河川について、計画的に保全することにより、安全・安心の確保に努めます。平成24年度は杉生地内での護岸整備を実施します。

**市街化調整区域の活性化方策検討（新規）** 160万円

【担当：企画部 企画財政課】

市街化調整区域の土地利用については、特別指定区域制度の活用により北部地域より順次土地利用計画を策定し、まちの活性化に向け取り組んできましたが、町南部地域におけるニュータウン間の主要幹線沿道（市街化調整区域）における土地利用方針を検討するため、商工会、兵庫県、町による検討委員会を設置し、まちの活性化に向けた取り組みを進めます。

**特別指定区域制度の活用（拡充）** 447万3千円

【担当：まちづくり部 都市環境課】

市街化調整区域においては、厳しい建築制限により居住者が減少し活力が失われつつあることから、建築制限の緩和、それに伴う必要な開発行為が可能となる特別指定区域の指定を受けるために、住民の総意による将来の土地利用計画を策定します。大島小学校区に引き続き、楊津小学校区では地区土地利用計画を策定し、特別指定区域の指定に取り組みます。阿古谷小学校区についても同制度の活用に向け、まちづくり協議会と協議します。

# 人びとと行政がともに歩むまち 猪名川

## ～ 行政運営 ～

行財政改革などによる効率的な行政運営と中長期的な視点の行政経営に取り組むとともに、行政情報の提供と情報公開を充実させ、住民とのパートナーシップをさらに高めるためのまちづくりに取り組みます。

地域の特性を活かした政策立案や住民とともに課題解決に取り組むため、町職員の意識改革を図り、政策形成能力や企画調整能力などの資質向上、住民ニーズに対応できる人材の育成に努めます。

### 広報紙A 4冊子化リニューアル（新規）

279万円

#### 【担当：企画部 企画財政課】

平成25年1月号より広報紙をこれまでのタブロイド版からA4冊子版にリニューアルし、紙面内容の充実やわかりやすい広報紙を目指すとともに、ポスティングによる全戸配布にすることにより、より効果的な情報発信に努めます。

### 清流猪名川ふるさと応援寄付金記念品（継続）

25万円

#### 【担当：企画部 企画財政課】

本町の知名度向上と愛着を深めていただくため、清流猪名川ふるさと応援寄付金の更なる啓発を実施し、「ふるさと納税」により1万円以上の寄付をしていただいた町外の方へ、ぼたん鍋セットや生そば、合鴨米など、本町の特産品をお礼として贈呈します。



### コンビニ収納サービス事業（継続）

99万3千円

#### 【担当：総務部 税務課】

町税等が納めやすい環境整備を図るため、1件30万円以下の町税等について、コンビニエンスストアにおける収納取扱を引き続き行います。

### 地籍調査事業（継続）

3,233万8千円

#### 【担当：まちづくり部 建設営繕課】

正確な土地の測量を実施することにより、土地の正しい位置、形、地番及び地積を明らかにし、総合的な土地政策を推進する基礎データを作成するために地籍調査を実施しています。平成24年度は槻並と万善地区の地籍調査を実施します。